

 開校明治七年 開校 151 周年	大和田小だより 学校教育目標 かしこく やさしく がんばる子 歴史と伝統の学校として、開校 151 年目も元気にスタート。	めざす学校像 きびきび・にこにこ・すらすら・はきはき ～わかる・できる・楽しいを実感できる大和田小学校～ 10 月号 令和 7 年 9 月 30 日 新座市立大和田小学校 児童数 689 名・学級数 25 学級	10 月の生活目標 落ち着いて学習にとりくもう ・着席チャイム ・話し手に体を向ける ・授業準備を丁寧にを行う
---	---	--	---

見届けることの大切さ！

校長 戸高 正弘

小学校の時に担任してくださった Y 先生との出会い。それが私の将来を決めました。教育学部がある大学への進学が決定し、嬉



しさのあまり、すぐに Y 先生に連絡をし、名字を名乗ると、突然の連絡にもかかわらず、「正弘君、お元気でしたか？」との言葉。名字やあだ名でなく、

呼ばれた記憶の全く無い下の名前で声を掛けられ、大変驚きました。Y 先生のように子どもを大事にする教師になると強く決意しました。その後、念願叶い、小学校教師となり、「一期一会」を大切に、児童と共に成長する教師を目指し、日々教育活動に全力で励んできました。

ある時、実家を片付けていると、小学校 6 年生の時に毎日綴っていた「生活の記録」を見つけました。やや破れたり、日に焼けていたりして読みづらかったものの、当時の自分の考えや毎日の出来事が書いてあり、懐かしく思いながら当時を振り返りました。私が書いた後には、担任の先生から赤ペンでコメントが添えられていました。

「自分に与えられた仕事をいつもこつこつとやっていますね。それらの積み重ねが、将来あなたを支えてくれることでしょう。」

「私も子どものとき、何度やり直したことか。失敗は成功のもと、がんばれ！」などなど。中には、卒業直前に可愛がっていた犬が死んでしまい、ひどく落ち込んでいた時のことをそれとなく書いた内容がありました。それから 1 週間後ぐらい後に次のようなコメントがありました。

「心の傷は少しずつふさがってきたかな？」

と言ってもすぐに忘れられるものではないでしょうけれどね」

「自分の悲しみとか、がんばりとかを誰かが知ってくれるというのはうれしいことではありませんか？あなたが犬を大切にしていたことを知っている人がこのクラスにはたくさんいたのですね」と。

担任の Y 先生は、ふさぎこみがちであった私をいつも気にかけてくださったことに改めて気付かされました。

子どもたちの可能性を信じ、意欲向上を図るために、特に「見届け」が大事であると考えています。子どもたちの良さを伸ばすために指導することはもちろんのこと、様子をよく見て、指導したことがしっかり身についているかを確認することが重要です。不足していればさらに励ましの声をかけ、時には別の方法で教え、定着するまで見届ける、子どもの成長を第一に考える大和田小の教職員集団であり続けたいと思います。

先述した Y 先生には、校長に着任した報告をした際には、大変喜んでくださいました。その後、いただいたお便りには「お仕事でご活躍ですね」との温かい言葉が添えられていました。今でもたまにやり取りが続いています。11 月末には、久しぶりに Y 先生を囲んで、クラス会を行う予定になりました。お目にかかるのも十数年ぶりです。その時の私は、きっと今でも小学生のままでしょう。Y 先生からの教えを胸に、大和田っ子の成長を温かく、時には厳しく見届けていきます。

